

2015年度 日本理学療法士協会理学療法士講習会（愛媛県開催）のご案内

愛媛県理学療法士会では、「2015年度理学療法士講習会応用編」を下記の要領で開催致します。本講習会は、理学療法士として応用的な知識と技術を習得するための理学療法士講習会（応用編）です。つきましては、多くの理学療法士のご参加をお待ちいたしております。

※お申し込みは、協会ホームページの「マイページ」からお願い致します。なお、講習会情報の検索には「セミナー番号」または「会場所在地」から検索をしていただければ、スムーズにご確認いただけます。

テーマ：臨床家のための具体的研究手法

番号：セミナー番号 7970

日時：2015年8月29日～30日

場所：河原医療大学校

講師：天野徹哉（常葉大学）・内田茂博（広島国際大学）・伊藤秀幸（山口コ・メディカル学院）
田中繁治（川崎リハビリテーション学院）・森川真也（放射線第一病院）

目的：臨床研究で必要な具体的手法を演習を通して習得する。

内容：臨床研究を始めるために必要な具体的方法論（臨床疑問から研究テーマへの発展・研究デザイン・統計解析など）について、演習形式を交えて学んでいきます。統計解析は、単変量解析から多変量解析まで実際に統計ソフトを使用して演習を行います。また、理学療法診断に基づいた臨床推論や多施設共同研究について紹介します。

申込期間：2015年6月29日(月) ～ 2015年8月9日(日)

問合せ先：森川真也 放射線第一病院 morimori1223pt@yahoo.co.jp

テーマ：脳卒中片麻痺に対する運動力学視点からのアプローチ～座位編・立位編・歩行編～

番号：セミナー番号 7971

日時：2015年9月12日～13日

場所：総合リハビリテーション 伊予病院

講師：谷内幸喜（大阪河崎リハビリテーション大学）

目的：「回復期リハビリテーション病棟という言葉が、診療報酬上に新設されて10年以上が経過しているが、一部では「マッサージと散歩をしている病棟」などと囁かれている。本講習会では、臨床での教育体制(卒後教育)が不十分な組織へ就職したセラピストを中心に、基本的な脳血管疾患に対する評価と座位、立位、歩行といった一連のアプローチの習得を目的に、講義と実技（実際の患者さんを前に評価～治療）を展開しながら、明日からの臨床に役立つよう実践的な方法で講習したい。

内容：講義は、脳卒中片麻痺患者における座位、立位、歩行それぞれの姿勢における特徴を、運動力学的視点から理解する。実技は、脳卒中片麻痺患者に対する座位、立位、歩行といった一連のアプローチを、講師によるデモンストレーションをもとに、受講者自身における実技練習をとおして習得する。

申込期間：2015年7月12日(日) ～ 2015年8月23日(日)

問合せ先：河崎由美子 総合リハビリテーション伊予病院 y.kawasaki@iyohp.jp

テーマ：下部体幹の徒手理学療法の評価と治療 ～腰椎・仙腸関節・股関節を中心に～

番号：セミナー番号 7972

日時：2015年10月3日～4日

場所：愛媛十全医療学院

講師：林寛（彦根中央病院）・佐伯武士（大和大学）・近藤正太（三津整形外科）・山内正雄（済生会西条病院）

目的：下部体幹の徒手理学療法に必要な解剖学・運動学・画像の知識を深め、評価・治療手技の習得を目的とする。

内容：下部体幹の徒手理学療法の評価に必要な、解剖学・運動学・画像の知識と徒手理学療法の評価・治療について、簡単な講義を行い、実技を中心にを行います。講習会終了後の臨床で使えるように、比較的簡単な評価・治療手技を選び、習得しやすいように時間をかけて実技を行う予定です。

申込期間：2015年8月3日（月）～2015年9月13日（日）

問合せ先：佐伯茂行 松山リハビリテーション病院 shigeyuki.saiki@gmail.com

テーマ：PNF 概念による中枢疾患に対する運動療法 ～PNF と痙縮改善方法の臨床応用～

番号：セミナー番号 7973

日時：2015年10月31日～11月1日

場所：河原医療大学校

講師：勝浪省三（市が尾カリヨン病院）・内田勝之（愛媛十全医療学院）・水間恒（済生会西条病院）・吉田宏史（松山赤十字病院）

目的：PNF コンセプトの基礎と臨床応用を分かりやすく解説し、中枢疾患における安定性と痙縮改善のアプローチ方法を学習するとともに、その理論的背景を説明する。

内容：筋力・安定性向上をより効率よく、効果的に改善するPNF コンセプトの解説を行い臨床上よく使い、且つ使いやすい運動パターン・動作を練習し、ADL 改善を目指す方法論を学ぶ。また、筋の過緊張が低下する理論を解説し手技の一部を実技練習する。

申込期間：2015年8月31日（月）～2015年10月11日（日）

問合せ先：内田勝之 愛媛十全医療学院 katsuyuki@esm-juzen.ac.jp

テーマ：臨床における呼吸理学療法

日時：2016年2月13日～2月14日

番号：セミナー番号 7969

場所：松山市民病院

講師：宮川哲夫（昭和大学大学院）・高橋仁美（秋田市立秋田総合病院）・宮崎慎二郎（KKR 高松病院）・萩森康孝（松山市民病院）

目的：本講習会は、呼吸理学療法を実施する際に必要な病態把握の評価方法の習得と個々の問題症例を通して、問題点やプログラムの立案方法を考えます。

内容：呼吸理学療法の基礎学習、呼吸理学療法に必要な循環器の基礎学習、呼吸理学療法・呼吸ケアに必要な病態把握（グループディスカッション）、症例発表から学ぶ評価から治療場面までの流れの把握、慢性期・急性期における呼吸理学療法、人工呼吸器の基礎と実技指導、急性期におけるリスク管理

申込期間：2015年12月13日（日）～2016年1月24日（日）

問合せ先：萩森康孝 松山市民病院 y.hagimori@matsuyama-shimin-hsp.or.jp